

トリホリン乳剤 サプロール乳剤	取扱メーカー： クミカ、住友化学、一農、琉産 原体メーカー： 住商アグロ
成分： トリホリン〔エルゴステロール生成阻害剤〕……………18.0%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- うどんこ病、さび病、黒星病などの病害に防除効果を示す。
- 予防効果と治療効果を兼ね備し、葉中移行性があるので葉表にしか薬剤がかからない場合にも葉裏まで防除効果が及ぶ。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 発病前あるいは発病初期に作物にムラなく散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- きくで初めて使用する品種、作型ではあらかじめ小面積で試用し、薬害の有無を確認するなど、注意して使用する。
- ばらに使用する場合、夏期などの高温時では朝夕の涼しい時に散布する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などアルカリ性薬剤及び微量要素肥料との混用はさける。
- なし（幸水系、晩三吉など）には極微量で薬害を生じるので、次の注意を守る。
 - 散布液がかからないよう注意して散布する。

○本剤使用後の散布器具、容器を用いて散布しない。

○やむを得ず、本剤使用後の散布器具を使用する場合は薬液タンク、散布器具、配管部分、ホースなどの内部を十分に洗浄したのち、その散布器具を用いて散布予定のすべての品種の新葉の数枚に清水を散布し、7日後に薬害の有無を確認の上使用する。

- 適用作物（野菜類、いちご、メロン、きく、ばら）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（なし）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	トリホリンを含む 農薬の総使用回数
かき	うどんこ病	1000倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	4回以内	散布	4回以内
もも	灰星病	800～ 1000倍		前日まで	5回以内		5回以内
いちご	うどんこ病	2000倍	6回以内		6回以内		
メロン		1000～ 2000倍	5回以内		5回以内		
きゅうり		1000倍	3回以内		3回以内		
なす		1500倍	5回以内		5回以内		
ピーマン	さび病	800～ 1000倍	3日前まで		2回以内		2回以内
トマト		1000倍	5回以内		5回以内		
さやえんどう	うどんこ病	1500倍	14日前まで		5回以内		5回以内
ねぎ	白さび病	1000～ 1500倍	—				
ばら	うどんこ病 黒星病	1000倍	1～2 ℓ / m ²	発病初期	6回以内		6回以内
芝	さび病						
日本芝 西洋芝(ベントグラス)	フェアリーリング病		10 ℓ / m ²				